

岐阜県家庭教育学級実践事例

学校行事参加型・講演会型+体験活動参加型(保育園)

学 校 名 等	大垣市立墨俣保育園
実 施 日 時	令和 6 年 5 月 14 日(火)
会 場	墨俣保育園 園庭・遊戯室・園周辺
参 加 人 数	園児 84 名(年少・年中・年長)／保護者 81 名
学習課題(分野)	苗植え・交通安全教室(命の大切さ)
運営者の願い	保護者と子ども達に、活動を通して仲良く触れ合いながら楽しんで取り組んで欲しいという思いを伝え、年間目標「ふれあい たくさん あったか家族」の意識付けを図った。体験や講演会など複数を組み合わせることで、満足度の充実と、親子での時間を過ごせるよう企画した。

学 習 の 内 容

<苗植え(年少、年長)>

各担任の説明を聞いた後、あらかじめ用意された苗、鉢、土、プランターなどを使い親子で植えた。年少、年長それぞれに合わせた作業工程で行ったため、どの子どもも無理なく楽しく進めることができた。

<玉ねぎ抜き(年中)>

園の畑で玉ねぎを収穫した。土の中に玉ねぎが埋まっている所を初めて見た園児も多く、驚きと感動を味わえた。また、抜いた玉ねぎを持ち帰って保護者が調理することにより、収穫から調理までの工程を知ること、食育への繋がりを持たせられた。



<交通安全教室(講師:大垣市役所 危機管理室 職員)>

大垣市役所 危機管理室の職員の方に来園していただき、交通安全教室を行った。園児達とコミュニケーションを取りながらの講演であったため、園児達が「しっかりチャイルドシート乗ってるよ!」「飛び出したら危ないよ!」などと時折 声を出し、真剣に取り組んでいた。



<歩行訓練>

交通安全教室を行った後すぐの実践だったこともあり、園児達は「右左を確認して、手を挙げて渡る」ことで、車が来ていないかが分かり、道路を安全に渡れるのだということを学ぶことができた。



<保護者の感想>

- ・ 親でも新鮮な作業を親子で経験でき、とても楽しめました。
 - ・ 2つの企画を同時にでき、内容の濃い回でした。
 - ・ わが子の園での様子を知る貴重な機会でした。
 - ・ 歩行訓練は兄弟で行うなど、兄弟がいる家庭への配慮がたいへんありがたいです。
- ※ 兄弟間の予定調整など細かな苦労もあったが、全体的に高評価をいただける結果となった。



企画内容の工夫

自然に触れる体験と、今の年代にこそ身に着けて欲しい日常生活での知識の2つを同時に学べるよう立案した。



兄弟での体験

兄弟がいる家庭は、歩行訓練で兄弟が一緒に体験できるように調整し、親子が安心して楽しく行えるよう工夫した。



園での親子体験

普段、見る・知ることが難しい園生活を、親子で過ごせた貴重な時間となった。話したり手をつないだりと、子ども達が保護者の方と嬉しそうに過ごす光景がとても印象的だった。